- , - ,	院八王子専門学校	₹ 開講	年度	2019年度(干风31年長)	科目名	国家乙酚	合格講座		
斗目基礎性	青報	•				•	•			
開設学科	自動車整備科			コース名	なし		開設期	後期		
付象年次	2年次			科目区分	必修		時間数	17時間		
単位数	0単位			授業形態	講義					
	オ適時レジュメ・資	 賢料を配布す	トる。	参考書・参考資料などは、授業中に指示する。						
旦当教員	 青報									
33300000000000000000000000000000000000	大瀧昇利、山本昌		t、須i	藤竜二		実務経験の	有無・職種	有・一級		 自動車整備士
学習目的	1									
強受験の際 到達目標 二年間で	高み解き理解すること 際に自身の実力を発揮 で学習した内容を振り り返し行うことにより	出来るように	にする。 ること	ことが狙いっ	であり、これ	により国家試 題された問題	験二級自動車	整備士資格	を取得することが	目的である。
〝狙いであ	り、これにより国家	試験二級自動	動車整個	備士資格を見	取得すること	を目標とする	۰			
效育方法等	——————————— 等									
受業概要	整備士資格を取得と	出来ることを	と目指す	-						
主意点	学生間・教員とき 社会への移行を前指 行わないこと。不明 で評価を行わない。	是とした受講 明な点は教員	青マナー 員に確認	- で授業に参	:加すること :深める努力:	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
主意点	社会への移行を前打 行わないこと。不明	提とした受講 明な点は教員 , また出席確	青マナー 員に確認	- で授業に参	:加すること :深める努力:	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
主意点	社会への移行を前担 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割	提とした受講 明な点は教員 , また出席確	情マナー 員に確認 重認時に	-で授業に参 限し、理解を Ξ遅刻の場合	:加すること :深める努力: :4時間の欠席	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初ただし、授業	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
評価	社会への移行を前担 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割	提とした受講 明な点は教員 。また出席確 合	情マナー 員に確認 重認時に	-で授業に参 限し、理解を Ξ遅刻の場合	:加すること :深める努力: :4時間の欠席	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初ただし、授業	の授業で説明	月)。教員の指示に	
評価方	社会への移行を前担 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割	提とした受講 明な点は教員 。また出席確 合	情マナー 員に確認 重認時に	-で授業に参 限し、理解を Ξ遅刻の場合	:加すること :深める努力: :4時間の欠席	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初ただし、授業	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
評価	社会への移行を前担 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割	提とした受講 明な点は教員 。また出席確 合	情マナー 員に確認 重認時に	-で授業に参 限し、理解を Ξ遅刻の場合	:加すること :深める努力: :4時間の欠席	を求める(詳) をすること。 7	しくは、最初ただし、授業	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
評価方法	社会への移行を前担行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割 試験・課題 1	提とした受講 明な点は教員 。また出席確 合	・マナー ・登に確認時に ・全認時に と課題	- で授業に参認し、理解を - 遅刻の場合 を総合的に	加すること。 深める努力: 4時間の欠席 評価する	を求める(詳 をすること。7 ぎとなる。	しくは、最初ただし、授業	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
評価方法	社会への移行を前指 行わないこと。不同 で評価を行わない。 種別 割 試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・マナー ・登に確認時に ・全認時に と課題	- で授業に参認し、理解を - 遅刻の場合 を総合的に	加すること。 深める努力: 4時間の欠席 評価する	を求める(詳 をすること。7 ぎとなる。	しくは、最初ただし、授業備考	の授業で説明	月)。教員の指示に	に従い、勝手な作業
評価方法	社会への移行を前担行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割 試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・マナー ・登に確認時に ・全認時に と課題	- で授業に参 思し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に な変更する	が か で が で が で に で が の の の に で に で の の の の の に に で に で に の に で に の に で に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	を求める(詳 をすること。7 ぎとなる。	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の	の授業で説明時数の4分の	月)。教員の指示に3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 3	社会への移行を前抗 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割 試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・マナー ・登に確認時に ・全認時に と課題	- で授業に参 思し、理解を こ遅刻の場合 を総合的に よ変更する 国家二級整	加すること。 :深める努力。 :4時間の欠席 評価する 可能性があ 。 備士試験の必	を求める(詳 をすること。 ₇ 8となる。	しくは、最初ただし、授業 備 考	の授業で説明時数の4分の 到達目標 ことが出来る	月) 。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画	社会への移行を前記 行わないこと。不明 で評価を行わない。 種別 割 試験・課題 1 (1回~5回) ※ 授業 国家試験対策① 国家試験対策②	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・マナー ・登に確認時に ・全認時に と課題	- で授業に参認し、理解を と遅刻の場合 を総合的に は変更する 国家二級整	加すること。 深める努力・ 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る 過去問題を理角	しくは、最初ただし、授業 備 考	の授業で説明 詩数の4分の 到達目標 ことが出来る	月)。教員の指示に3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 日 1 回 2 回 3 回	社会への移行を前抗行わないこと。不可で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参 をし、理解を に遅刻の場合 を総合的に は変更する 国家二級整 国家二級整	加すること: 深める努力: 4時間の欠席 評価する 可能性があ : 備士試験の並 備士試験の並 備士試験の並	を求める(詳 をすること。7 5となる。 る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の 足し正答する。 足し正答する。	の授業で説明時数の4分の 到達目標 ことが出来ることが出来ることが出来る	月) 。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 1 回 2 回 3 回 4 回	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 1回 2回 3回 4回	社会への移行を前抗行わないこと。不可で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 5となる。 る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 1回 2回 3回 4回	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 日 日 日 2 日 3 日 4 日	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 。 また出席確 合 100% 試験 さ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
価 方 法	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 口 1 回 2 回 3 回 4 回	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 口 1 回 2 回 3 回 4 回	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 口 1 回 2 回 3 回 4 回	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 日 日 日 2 日 3 日 4 日	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業
評価方法 受業計画 日 日 日 2 日 3 日 4 日	社会への移行を前抗行わないこと。不明で評価を行わない。 種別 割試験・課題 1	是とした受講 明な点は教員 また出席確 合 100% 試験 ²	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で授業に参認し、理解を 上遅刻の場合 を総合的に ま変更する 国家二級整 国家二級整	加すること。 深める努力。 4時間の欠席 評価する 可能性がある 備士試験の必 備士試験の必 備士試験の必	を求める(詳 をすること。7 まとなる。 る る 過去問題を理角 過去問題を理角	しくは、最初 ただし、授業 備 考 各回の るる 足し正答する。 異し正答する。 異し正答する。	の授業で説明 時数の4分の 到達目標 ことが出来る ことが出来る ことが出来る	月)。教員の指示に 3以上出席しない者	に従い、勝手な作業